

二人とも新たな自分になりました！ ここは自由自在に生きて行けるところだから

湯河原へゆうゆうの里へ

古居儔治様(80歳)・要子様(79歳) 平成28年1月 夫婦入居

三惚れ主義で地元に残す

ご主人 豊橋の出身で東大法学部を卒業し国家公務員に。自治省に勤務して、最初に赴任したのが兵庫県庁で、妻とはそこで知り合いました。その後島根県、石川県にも勤務しました。それぞれ初めての地で、苦労しましたが、楽しい思い出もあり第二の故郷になりました。どこに勤務しても自治省の先輩から教えてもらった「仕事に惚れ、土地に惚れ、女房に惚れ

る」という主義を貫き、その土地の歴史・文化を真剣に学び、仕事にベストを尽くしました。その後、内閣法制局参事官、鳥取県副知事を経て、宮内庁に勤務し、審議官、書陵部長、管理部長等を勤めました。皇室にお仕えする任務を与えられましたことは私の大きな誇りです。

忙しい夫を支える暮らしは充実していました

奥様 県庁で知り合ったキャリアの夫に憧れて結婚し、専業主婦になりました。松江で長女と次女を産みました。夫は忙しいので子育ても一人でやるのが当たり前だと思っていました。転勤族に付き物の引越しも全部一人でやりきりました。それでも苦になることはなかったですね。金沢に赴任している時は、洋裁を習いに文化服装学院に通いながら自動車学校にも通いました。料理学校にも行きまし

た。自宅の料理でもてなすのも楽しかったです。

ご主人 妻が料理上手で助かりました。自宅で20人位を接待してもらったこともありました。

奥様 子育てが一段落した時、もっと自分を表現したいという思いに駆られ、明治座アカデミーで演劇を勉強し卒業公演もできました。実は夫とCMに出演したこともあるんです。

料理好きの妻が「料理をしたくない」と言いだした

ご主人 漠然と将来介護が必要になった時、どんな選択があるのか考え出したことがあります。それは緊急性のない先の話でした。ところがある時妻が「料理をしたくない」と言いだしたのです。料理好きの妻が料理をしないとの突如の宣言に驚きましたよ。

奥様 その後二人で、要介護に備えるだけでなく「私が料理をしな



くとも暮らせる場所」を探し出しました。見学した同じタイプのホームの中から湯河原に決めました。海があり、温暖で、何よりも温泉が一番の魅力でした。子供たちは全面的に賛成でした。

入居してから、妻の変わりようにビックリ

ご主人 入居してすぐに、色々な方からテニスに、卓球に、ゴルフにと誘われ、妻もトレーニンングジムで一緒の方から、やったことのないカラオケに誘われ参加するようになりました。お風呂や食堂でもたくさんの人と知り合いになりました。

奥様 こんなに自由自在に生きていける所があるとは思ってもみなかったです。今までは自分自身を出し切っていなかったと思う位です。本当に第二の人生って感じ。地元の「やつき祭り」で踊ったりするなんて都会では考えられなかった。

ご主人 入居者会の役員もやるようになったのも驚きです。今までは妻の「保護者」のつもりだったがもう卒業です。

奥様 一緒にパークゴルフをやるようになりました。今は主人と互角に勝負できるようになったので、ハンデキャップは返上です。



茶摘みを楽しむご古居様夫妻